

令和3年度 事業報告書

社会福祉法人 報徳福祉会
さつき保育園

事業の概要

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中での「ウイズコロナ」の生活が続いた一年だった。全国的な状況としては、主にデルタ株による感染拡大を受けて、令和3年4月6日からまん延防止等重点措置、令和3年4月25日から緊急事態宣言が発令された。

職員のワクチン接種については、八王子市の職域集団接種と合わせて、無理なく、ほぼ全ての職員がワクチン接種を受ける事が出来た。保育では、新しい生活様式が身に付き、日常の感染防止対策に注意を払い、消毒の徹底、検温の実施、合同保育の回避等に取り組んだ。

行事に関しては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、また、状況を踏まえながら、引き続き見直しや工夫をした。保護者会は、昨年同様に動画配信をし、保育目標やクラスの様子等を保護者に伝える事が出来た。また、一方通行にならないように事前に各クラステーマを決めてアンケートを取り、それに基づいた内容も追加して配信した。

保護者参加の行事は、変更や縮小をし、令和2年度の形式を再検討しながら各職員の創意工夫により新たな形での行事スタイルを確立していった。例えば、昨年保護者に好評であった子ども達の活動の様子を撮影した動画に編集を加え、動画配信を行う事が出来た。今年度の経営計画に掲げたアスレチック改修工事も無事に完了し、木育事業と平行して有意義に進められた。

全国的には秋頃に一時期収束の兆しが見えたが、年が明けた頃からオミクロン株による感染者が爆発的に増え、当園も1月から2月に掛けて、新型コロナウイルス感染症の陽性者が、職員・園児・保護者に相次ぎ、休園や一部休園の措置を余儀なくされる事態となった。

休園中の職員の自宅勤務では、新たに導入を検討している保育ドキュメンテーションの作成を課題として取り組む等、各々自己研鑽に努め、スキルを高める事が出来た。特筆すべきは、職員研修の殆どがオンライン形式になった事から、参加しやすくなり、キャリアアップ研修を含め、大勢の職員が多くの研修に参加出来た事である。

ある程度の予測は立てられたものの、オミクロン株の爆発的な感染により、予想以上の休園措置を取らざるを得ない状況となったが、保護者の理解と協力を得て、乗り切る事が出来た。

このように、年間を通して新型コロナウイルス感染症への対応に追われたが、「できること」を最大限に工夫し、前向きに取り組んだので、結果的には得る事も多かった一年となった。コロナ禍やロシアのウクライナ侵攻等における社会経済状況は厳しく、家庭への打撃も強いと考えられたので、広い視野で、常に子ども・保護者の立場で保育園運営に尽力した。

1. 施設事業運営

(1) 各月入所児童数

R4.3.31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
1歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
2歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
3歳児	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
4歳児	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
5歳児	24	24	23	23	22	22	22	24	24	24	24	24
合計	111	111	110	110	109	109	109	111	111	111	111	111

ア. 健康管理

月/日	項目	費用	備考
4/7	内科健診（新入園児）	31,130	健診の結果をプリントで配付
5/12	内科健診（全園児）	103,700	健診の結果をプリントで配付
6/10	歯科健診（2～5歳児）	50,000	健診の結果をプリントで配付
10/6	内科健診（全園児）	103,700	健診の結果をプリントで報告
定期	0歳児健診	280,170	診断の結果を連絡帳で報告 31,130×9ヶ月
	身長体重測定		測定の結果を連絡帳で報告
合計		568,700	

*健診・検査・測定結果は別紙

イ. 栄養管理

保健所の指導のもと、給食・おやつについて十分な栄養管理を行い、アンケート等で家庭からの意見も受け入れた。また、給食だよりで、家庭における栄養管理も指導した。（今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、試食会は取りやめた。）

また、月1回給食会議を開き、献立内容・指導方針・衛生面等について意見交換を行った。その際、事前に各クラスに配付したアンケート用紙を用い、毎日の食べ具合・味付け・分量など、次回の献立作成の参考にした。

栄養士・調理員が順に各クラスに足を運ぶ事で、子ども達の給食状況を把握し、食事指導等も行った。

《給食計画》

毎日、午前11時15分頃より、各クラスにて手作りの給食を食べた。アレルギー対応として、専用トレーの使用と食器等の色別で、誤食を防いだ。

コロナ禍においても、月1回の誕生会メニューや行事メニューを通して、子ども同士の繋がりを深めた。また、クリスマス会食会では、ホールにて4・5歳児が会食会を楽しんだ。

別紙、食育計画（年間予定表）に基づいて、給食のお手伝いなどを行い、食材に親しみ、食べ物大切さを感じるなど、食に関わる体験を積み重ねた。

《指導方針》

必要な栄養を摂取しながら、友達と一緒に楽しく食べると共に、食事のマナーを学び、好ましい食習慣を身につけるよう指導した。

近年、子ども達の食を取り巻く環境が変化する中で、乳幼児期から、食を通じて子ども達の健全育成を図る為に、「食を営む力」を育む「食育」を推進した。

ウ. 保育

《保育理念》 生き生きとした子ども達の“め”を大切に…

《保育方針》 保育園は、家庭を離れる時間が長い乳幼児を保育することを目的とする。子ども達が安心して落ち着いて生活出来る場を作り、その生活の中で、一人ひとりの子ども達の成長発達に良い影響を及ぼすよう、充実した意味ある生活を経験させていく。

《保育目標》 体と心と知能、子どもとしてのバランスのとれた成長を目指す

1. 健康で丈夫な子
2. 見分けられ、聞き分けられ、考えられ、創り出せる子
3. 自分を大切にし、友だちを大切にする子
4. 豊かな表現の出来る子

《保育計画》 全体的な計画、年案・月案・週案は別紙

《行事計画》 年間行事報告書は別紙

エ. 安全管理

日本スポーツ振興センターに加入

保育園賠償責任保険に加入

(2) 職員の処遇

ア. 職員構成

R4.3.31 現在

園長	1名	アシスタント保育士	6名
副園長	1名	アシスタント看護師	1名
事務長	1名	保育アシスタント	10名
主任保育士	1名	調理アシスタント	3名
保育士	14名	嘱託医（内科）	1名
看護師	1名	//（歯科）	1名
栄養士	2名		
調理員	1名		
用務員	1名		

イ. 健康管理

月/日	項目	費用	備考
4/1	腸内細菌検査	13,305	全職員実施 295円×41名
希望日	生活習慣病予防健診	119,864	希望者実施 20名
11/1 11/2	健康診断及び 胸部エックス線検診	49,797	生活習慣病予防健診受診者を除く 11名
11/10	インフルエンザ予防接種	152,500	希望者実施 4,000円×35名 2,500円×5名
定期	腸内細菌検査	93,988	調理担当、乳児担当実施 295円×該当者×11ヶ月
合計		429,454	

* 検査・検診結果は別紙

ウ. 職務分担

職務分担表は別紙

エ. 職員会議

毎週水曜日の午睡時間には各クラス1名の昼会議、月末には午後4時15分から全体会議を行った。行事の計画、反省等を行い、より充実を図った。また、係から職務についての提案を行い、より良い環境の中での保育を推進した。

日常保育についての意見交換・情報交換を行い、研修発表等を通して保育の質の向上を目指した。

* 会議内容は職員会議録に記録

オ. 福利厚生

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為、会食等は自粛したが、Zoomを使って、各々自宅で参加して職員間の親睦を深めた。
八王子市私立保育園協会のボウリング大会も中止となった。

カ. 研修報告

別紙

(3) 保護者

ア. 個人面談

新入園児は3月、進級児は4月に個人面談を行った。家庭での子どもの様子や家庭環境などを聞き、進級児については園での子どもの様子も伝えながら、保護者との共通理解を図り、信頼関係を深めた。
また、2月には希望者の第2回個人面談を行った。

イ. 保護者会

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、動画を撮り、年間目標や1年の流れ、クラスや子どもたちの様子などを伝えた。また、事前にアンケートを取る等して、相互の交流となるように努めた。

ウ. 保育参観・試食会

6月の4週間、保育参加を実施し、保護者にはより主体的に保育に関わって貰い、保育への理解と協力の促進を図った。(試食会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。)

11月には親子ふれあいDAY、2月には親子レク大会を実施し、相互交流を図った。

エ. おたより

行事にはプリントを配付し、協力・参加を促した。

(運動会、クリスマス会、成長展など)

また、個人の連絡帳で乳児は毎日、幼児は必要に応じて園生活の様子を知らせ、家庭での様子も知らせて貰う事で、園と家庭との連絡を密にし、相互理解を深めた。さつきっこチャンネルでは、引き続き行事の様

子を配信し、非常に好評であった。

2. 施設事業管理

(1) 事務関係

ア. 児童処遇事務

園だよりを月1回発行し、期末毎にはクラスだより・保健だより・給食だよりを、また随時さつきだよりを発行することにより、園の行事、様子、方針などを知らせ、理解を深めた。

(2) 設備関係

ア. 園舎の補修

工事名	費用	業者
園庭遊具(アスレチック) 木育推進事業	9,522,700	(株)チャイルド社

イ. 備品の補修

修理品名	費用	業者
対面式おさんぽ車用 空気タイヤ交換	14,000	(株)ムサシ

(3) 備品関係

ア. 備品購入

品名	費用	購入先
スチールロッカー4人用 (更衣室用)	55,000	(株)ムサシ

イ. 保育用品購入

品名	費用	購入先
アルミワンタッチボールカゴ	23,166	(株)ムサシ
かるかるカラーマット×2	96,000	(株)ジャクエツ
CD コンポ (東芝ハイレグ)	16,200	Amazon
人工芝 (プール用)	31,219	(株)ムサシ
リトルパロハイサークルゲート	67,000	(株)チャイルド社
スイスイおさんぽカー専用カバー	21,780	(株)チャイルド社
ラック プルメア	21,758	(株)フレーベル館

ウ. 給食関係購入

品名	費用	購入先
抗菌カラー牛刀	20,460	国立厨房サービス(株)
耐熱まな板×2	21,800	国立厨房サービス(株)

エ. 固定資産物品購入

品名	費用	購入先
ノート PC (Pro book)	118,800	(株)ムサシ

(4) 災害対策

ア. 避難消火訓練

避難消火訓練実施表は別紙

イ. 防災設備の保安点検

火災報知器、消火器などの定期点検を行った。(相模共栄に依頼)

自主検査を定期的に行った。(点検簿に記載)

ウ. 防災用設備

新規購入なし

(5) 地域社会との関連

近年、住民意識の変化により、地域全体で福祉を支えようとする試みが次第に芽生えてきた。それにともない保育園も、地域の中に溶け込み統合されていく時、最もその力を発揮すると考えられる。保育園は個々の家庭のニーズに応えるだけでなく、子どもの生活の場である近隣社会を生き生きと豊かに楽しいものにするため、地域の一部として開かれた保育園を目指し、その敷居を出来るだけ低くする配慮をした。

(6) 会計収支予算書・収支決算書は別紙